

《Lesson 3-1》 未来形□ be going to 疑問文 (Yes/ No 疑問文編)

be going to の疑問文も、基本的に be 動詞の疑問文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞を文頭に持ってきてあげれば完成となります。

【未来形□ be going to の Yes/No 疑問文： 基本の形】

be 動詞 + 主語 + going + to + 一般動詞の原形 + ~?

(「主語」は「一般動詞」するつもりですか / 予定ですか / でしょうか)

<例> Is she going to call you? (彼女はあなたに電話するつもりですか?)

Are you going to talk with Takuro? (あなたはタクロウと話す予定ですか?)

Is he going to go to the library today? (彼は今日図書館に行くのでしょうか?)

【作り方】

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

<例 1> 「彼女はあなたに電話するつもりですか」という文の場合。

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。→ 彼女はあなたに電話するつもりです。

She is going to call you.

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

Is she going to call you?

<例 2> 「あなたはタクロウと話す予定ですか」という文の場合。

ステップ 1 : be going to の肯定文を作る。→ あなたはタクロウと話す予定です。

You are going to talk with Takuro.

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

Are you going to talk with Takuro?

【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes, 代名詞 be 動詞.

No, 代名詞 *be 動詞 not.

* am 以外の場合、be 動詞 + not の短縮形を使うのが一般的。

<例> isn't / aren't / wasn't / weren't

be 動詞で聞いているので be 動詞 で答える。

do / does / did で答えないように注意。

<例> Are you going to study English?

Yes, I do. =×

<例 1>

Is she going to call you? (彼女はあなたに電話するつもりですか)

はい → **Yes, she is.**

いいえ → **No, she isn't. (No, she is not.)**

<例 2>

Are you going to talk with Takuro? (あなたはタクロウと話す予定ですか)

はい → **Yes, I am.**

いいえ → **No, I am not.**

《Lesson 3-2》 未来形□ be going to 疑問文 (疑問詞編)

そして、be going to に who / what / why などの疑問詞を足す場合は、be 動詞の文の時同様、基本的に疑問詞を疑問文の前に足してあげれば完成となります。

【疑問詞 + be going to の疑問文：基本の形】

疑問詞 + be 動詞 + *主語 + going + to + 一般動詞の原形 + ~?

*主語をたずねる疑問文の場合は「主語」の部分はなくなる

<例> **What** are you going to study today? — I am going to study English and French.

(今日あなたは何を勉強する予定ですか。 — 私は英語とフランス語を勉強する予定です)

When is he going to come here? — He is going to come here at 5:00.

(いつ彼はここに来るつもりなのですか。 — 彼は5:00 にここに来るつもりです)

Who is going to make our lunch? — Ms. Suzuki is. 【主語をたずねる疑問文】

(誰が私たちの昼食を作る予定ですか。 — 鈴木さんです)

【作り方】

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何、いつ、など) に同じ種類の**適当な単語**を入れて**疑問文**を作る。

(主語をたずねる疑問文の場合は、**肯定文**を作る)

ステップ 2: 入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。

(主語をたずねる疑問文の場合は、更に文の最後を“?”にして終了)

ステップ 3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

<例 1> 「今日あなたは何を勉強する予定ですか」という文の場合。

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何) に同じ種類の**適当な単語**を入れて疑問文を作る。

→ 「今日あなたは**英語**を勉強する予定ですか」

Are you going to study **English** today?

ステップ 2: 入れた “適当な単語” を「**疑問詞**」に戻す。

Are you going to study **what** today?

ステップ 3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

What are you going to study today?

<例 2> 「いつ彼はここに来るつもりなのですか」という文の場合。

ステップ 1: 疑問詞の部分 (いつ) に同じ種類の**適当な単語**を入れて疑問文を作る。

→ 「**5時**に彼はここに来るつもりですか」

Is he going to come here at **5:00**?

ステップ 2: 入れた “適当な単語” を「**疑問詞**」に戻す。

Is he going to come here **when**?

ステップ 3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

When is he going to come here?

<例 3> 「誰が私たちの昼食を作る予定ですか」という文の場合。【**主語をたずねる疑問文**】

ステップ 1: 疑問詞の部分 (誰) に同じ種類の**適当な単語**を入れて**肯定文**を作る。

→ 「**彼女**が私たちの昼食を作る予定です」

She is going to make our lunch.

ステップ 2: 入れた “適当な単語” を「**疑問詞**」に戻し、最後を?にする。

Who is going to make our lunch?

ポイント! スピーキングなどでよく登場する be gonna の形

be gonna は、be going to のくだけた言い方として使われます。そのため、親戚や友だちと会話をする際は、be gonna の方が多く使われる印象があります。しかし、プレゼンテーションや交渉などのビジネスの場では避けた方が無難な表現だと思います。

<友だちと話す時>

I am going to play soccer tomorrow. = ○

I am gonna play soccer tomorrow. = ○

<プレゼンテーションの時>

I am going to talk about this next. = ○

I am gonna talk about this next. = △